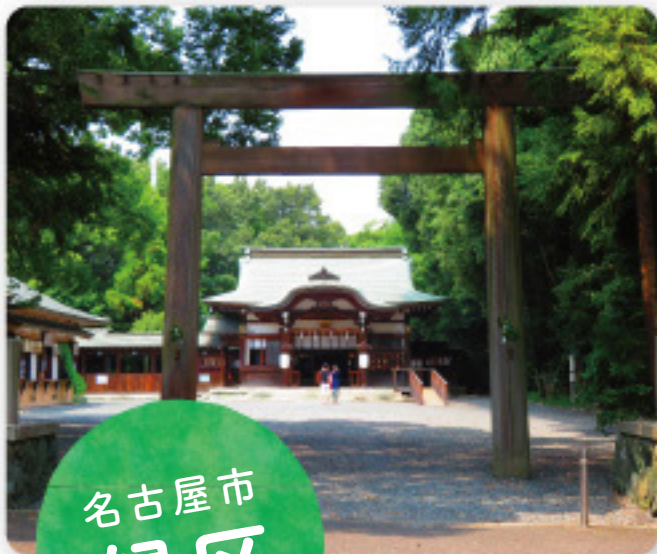




名古屋市
緑区



緑・歴史・笑顔
いっぱい!



魅力発見・まるっと発信!



緑区の魅力を 一冊にギュッとまとめました

名古屋市東南部に位置し、緑豊かな丘陵地帯の緑区。
古い時代を偲ぶ旧跡や町並みのある地域と
商業機能が充実した新しい市街地が共存するまちです。

見とれてしまうような美しい景色。
感性がキラリと光る伝統と革新のものづくり。
古き新しき個性あるまつりの数々。
緑区って、おすすめできる魅力がいっぱい。

これらを一冊にギュッとまとめてみました。
あなたの知らない緑区を、
知っていたようで知らない緑区を、
見つけてください。



緑区マスコットキャラクター
「みどりっち」



CONTENTS 目次

緑・景観	緑と花に囲まれた大高緑地	4・5
	四季折々の扇川と水辺の散策	6・7
	緑区自慢の景観スポット	8・9
歴史・文化	“日本創生期”ここは神話に彩られた地	10・11
	“戦国時代”信長の快進撃はここから始まった！	12・13
	“江戸時代”東海道の賑わいと交流	14・15
	伝統の技〈絞り・酒造り〉	16・17
	山車を守り後世に引き継ぐ	18・19
笑顔・活力	笑顔いっぱい、みどりっ子！	20・21
	いきいきシニアライフ	22・23
	身近に「農」がある暮らし	24
	緑区観光大使「みどりっち」	25
	みんなが主役！区民まつり	26・27
	心躍る個性あるまつり	28・29
	これからの魅力発信に向けて	30・31

大高緑地

緑と花に囲まれた

わ～い！
わ～い！
やっほ～！

ファミリーに嬉しい
1日遊べるスポット★



芝生広場

若草山の芝生広場を中心に、緑豊かな風景が広がる大高緑地。春は桜、初夏はハナショウブ、秋は紅葉など、自然を身体いっぱいに感じることができ、都会にいるのを忘れそう。緑地内には、ボートで賑わう琵琶ヶ池や木漏れ日溢れる竹林散策路をはじめ、ゴーカート、ロングスライダー、デイキャンプ場、野球場、テニスコート、プール、ドッグランなど趣向を凝らしたスポットが盛りだくさんで、1日だけじゃ遊びきれない。

広大な敷地を活かして、駅伝、おまつり、コンサートなど、年間を通じて様々なイベントも開催。それに恐竜まで!? さあ何して遊ぶ?

巻頭MAP 1 参照

交通公園



恐竜広場



さくらの園



竹林散策路



ロングスライダー



広大な敷地を活かして、
野外ロックフェスティバルも開催!



ディノアドベンチャー名古屋

コース全長900m、広い森を歩いて恐竜探検をしよう。実物大の恐竜模型は迫力満点!



四季折々の扇川と 水辺の散策

区内中央を横断する扇川は、緑区を代表する河川。中島橋から上流約6kmにわたって扇川緑道として桜並木や花壇が整備され、春は桜、夏はサルスベリ、秋はキンモクセイ、冬はカンツバキが可憐に咲き、川岸を歩くと草木がやさしく語りかけてくるかのよう。川にはコイ、カメ、岸にはカモやアオサギが訪れ、川のせせらぎとともに四季折々の風情を感じられます。

また新海池をはじめ、ため池が多い緑区。ため池や川沿いを巡る水辺の散策もおすすめです。



区内最大の
ため池
「新海池」

アカシヤ
広場

新海池（にいのみいけ）公園

周辺は公園として整備され、釣りが盛んなスポット。湖畔は絶好の散歩コースで、春は桜を愛でながらお花見を満喫できます。

巻頭MAP ▶ 2-B 参照

扇川緑道

清流に沿って桜が美しく咲く、春の扇川緑道。花壇を彩るチューリップや菜の花との共演も見どころの一つ。扇川という名前は、熊野社の祭礼で稚児が川に落とした舞扇の美しさに由来すると言われています。

巻頭MAP ▶ 2-A 参照

「新徳重橋」
「鳥澄人道橋」
周辺は
特にきれいだよ！



扇川散策マップ



花と緑の
まちづくりを推進する
「花水緑の会」による
花植え

眺めがよいから
夕暮れは絶景だよ！

千句塚公園

実は…

松尾芭蕉ゆかりの碑がある高台の公園。

公園内にある高さ50cmほどの石碑「千鳥塚」(本誌14ページ参照)は松尾芭蕉の直筆とされています。ここは住宅街の高台にあるため、現在も見晴らしは抜群。天気の良い日は、名港大橋、遠くには養老や鈴鹿の山々を望めます。

巻頭MAP ▶ 3-A 参照

滝の水公園

実は…

名古屋市立大学薬学部開校の地。

巻頭MAP ▶ 3-B 参照

同校の前身である「私立愛知高等薬学校(のちに私立名古屋薬学専門学校)」は1931年にこの場所で開校し、1951年に現在の瑞穂区に移転。その後、伊勢湾台風に伴うがれきの集積場を経て、1989年にオープンした滝の水公園。マジックアワーの美しい空、キラキラの夜景、感動の初日の出…どこを切り取っても絵になるスポットです。

緑区自慢の景観スポット

豊かな自然環境や美しい景観に恵まれた緑区ですが、ほかにも自慢したいスポットがたくさんあります。

カメラを持って散策に出かけませんか。

実は…

名駅エリアも望める！
宅地開発された街にできた
新しい駅

名古屋市の要望を受けて2009年に開業。その結果、市内で一番古い駅と一番新しい駅が隣り合わせになりました。遠くに名古屋駅前の高層ビル群が見え、真っ直ぐに延びる線路の先に未来の夢を感じられます。

巻頭MAP ▶ 3-E 参照

南大高駅

ツインタワーも
見える！

形がすごい！
まるで空飛ぶ円盤！?

実は…

緑区東部の新しい行政スポット

地下鉄徳重駅に隣接する民間施設と緑区役所徳重支所や徳重図書館などの公共施設との共同ビル。交流スペースである区民プラザでは、区民ボランティア(みどり区民プラザサポータークラブ)の皆さんの協力で館内案内、見守り活動、情報発信などが行われています。

巻頭MAP ▶ 3-G 参照

ユメリア徳重

鳴海配水塔

実は…

巨大な2つの桶

上下2つの貯水槽をひとつの塔にまとめた独特の形の鳴海配水塔。区内世帯の8割に水道水を供給しています。その巨大なコンクリート水槽には、胴板を“たが”で締め付ける木桶の伝統技術が活かされています。

巻頭MAP ▶ 3-F 参照

中は清潔感があふれ
明るくゆったり

現在は
名鉄自動車学校に！

鳴海球場跡

跡地に
金のホームベースが！

実は…

初めてプロ野球の
試合が行われた球場

1927年に誕生し、ベーブ・ルースらを交えた日米野球や日本初のプロ野球試合が繰り広げられた球場。自動車学校となった今もスタンドなど当時の面影を残しています。

巻頭MAP ▶ 3-C 参照

◀ 当時の鳴海球場

実は…

名古屋市内で
最も長い歴史を持つ駅

東海道線敷設のための材料を輸送する武豊線(武豊港～熱田駅)の駅として1886年に開業。官営の鉄道駅としては熱田駅とともに市内で最も長い歴史を有する駅です。

巻頭MAP ▶ 3-D 参照

大高駅

ここは神話に彩られた地

日本創生期

古代、熱田から鳴海、大高へ続く辺りは年魚市渦（あゆちがた）という浅瀬で、最も南に位置する大高は、古代史の英雄、日本武尊（やまとたけるのみこと）が東征に赴く途中、宮簀媛命（みやすひめのみこと）を見初め、東征後に新婚生活を送った地です。ここには二人にまつわる数々の神話が伝えられています。



実は
“熱田神宮”の
はじまり？

氷上姉子神社

ひかみあねごじんじゃ

宮簀媛命を祀る神社で、690年に元宮から現在地に遷座されました。日本武尊が伊勢神宮から授かった草薙神剣（くさなぎのみつるぎ）を宮簀媛命が守り、後に熱田に移し祀ったことが、熱田神宮の始まりとされています。

巻頭MAP 4-A 参照



氷上姉子神社から少し離れた北西の地にあります。昔、この辺りが海だった頃、日本武尊と宮簀媛命が海潮の波音で寝覚められたのではないかとというロマンスが残っています。

「寝覚の里」の碑



元宮

宮簀媛命の館跡で氷上姉子神社創建の地です。日本武尊は伊吹山の賊を討つため、草薙神剣を宮簀媛命に預けて再び出発しますが、途中で病に倒れ逝去します。宮簀媛命はこの地で晩年まで草薙神剣を日本武尊の御霊として守りました。

厳かに、しめやかに

氷上姉子神社の御田植祭



熱田神宮に奉納する米を作るために田植えを行う「御田植祭（おたうえさい）」が毎年6月第4日曜日、境内にある熱田神宮 大高斎田で執り行われています。1933年から休みなく続けられ、戦後、瑞穂区にあった御神田から引き継ぎ、今も揃いの衣装で田舞を奉納しています。

巻頭MAP 4-B 参照



※イラストはイメージです

古事記、日本書紀にまで及ぶ氷上姉子神社をはじめ、桶狭間の戦い関連の史跡や酒蔵のある風景など、大高の魅力スポットを紹介していますよ。



大高歴史の会
深谷 篤さん

実はここにも神話の世界！

成海神社

なるみじんじゃ



日本武尊が東征に出航した天神山に686年に創建され、1394年に鳴海城築城のためこの地に移転しました。日本武尊の故事に基づく御舟流しの神事が今も行われています。

豊かな自然に囲まれた由緒正しい神社です。

巻頭MAP 4-C 参照

1560年5月19日、織田信長率いる約3,000の軍勢が20,000とも30,000とも言われる今川軍を破り、大将・今川義元を討ち取った「桶狭間の戦い」。日本史上の大逆転ドラマとして名高いこの戦いに関わる多くの史跡は、ここ緑区にあります。

信長の快進撃は ここから始まった！

戦国時代



織田軍

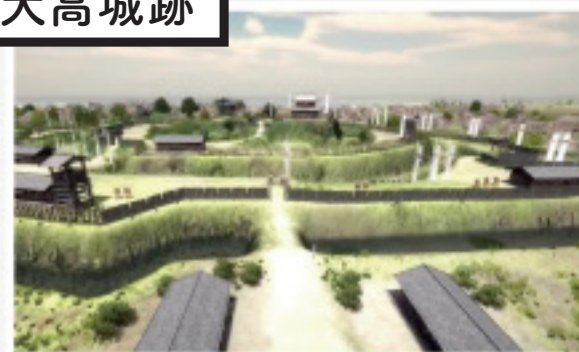
桶狭間古戦場公園

桶狭間の戦い450年を機に、当時の地形をジオラマ風に再現した公園。中央には、織田信長と今川義元の銅像が並び、シンボルになっています。この辺りは昔から田楽坪と呼ばれ、義元が討ち取られた場所と言われています。

巻頭MAP 5-A 参照

大高城跡

大高城の再現CG



桶狭間の戦い前夜、今川方だった松平元康（後の徳川家康）は、信長が築いた鷺津砦・丸根砦の監視の隙をついて大高城への「兵糧入れ」に成功。翌朝には丸根砦を攻め落としますが、大高城で今川方の敗北を知ると故郷岡崎へと向かいました。

大高城跡・鷺津砦跡・丸根砦跡は国史跡に指定されています。

巻頭MAP 5-B 参照



古戦場まつり 万灯会

桶狭間の戦いで亡くなった3,500人の将兵を弔い慰むため開催され、史跡めぐり、甲冑行列などのほか、近年では名古屋おもてなし武将隊による再現劇が人気を博しています。

日没後には大池の周囲で約3,500個の灯籠を灯す「万灯会」が行われ、辺りは幻想的な雰囲気になります。



※イラストはイメージです



昭和初期の
おけはざま山



今川軍



NPO法人桶狭間古戦場保存会
梶野 泉さん

桶狭間の戦いを契機に、信長は天下統一を目指し、家康は今川の支配から解放され、最後は信長が叶えられなかった天下泰平の世を成し遂げました。私たちは、安土桃山から江戸へと続く「近世の曙」と言えるこの戦いにまつわる歴史を学び、紹介しています。

東海道の池鯉鮒（知立）宿と鳴海宿の間に、旅人の安全を図るため尾張藩が政策的に開いた集落。移住者の長だった庄九郎が、九州豊後の絞り染めから着想した有松絞りが、東海随一の名産となり繁栄しました。

有松

絞りで栄えた
格子の町並み



有松あないびとの会
鈴木 義光さん

約400年の歴史ある有松の町並みを案内し、有松の歴史・文化・自然を学び、魅力を発信しています。江戸時代にタイムスリップしたような町並みを体感してください。

Check!

晩秋の有松を楽しむ会

毎年晩秋に開催される歴史ある町並みを、いけばな・きもの・アートで彩る、新しいイベントです。

有松ミチアカリ

晩秋の有松を楽しむ会に合わせて、竹あかりのライトアップが有松の夜を幻想的に照らします。



重要伝統的建造物群保存地区

緩やかに曲がった東海道約800mの区間に沿って、店頭販売のための広い間口、防火のための総瓦葺き、塗籠造（ぬりごめづくり）、虫籠窓（むしこまど）などを特徴とする絞り商家の豪華な主屋が並ぶ統一感のある景観は、2016年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。ゆったりと時間をかけて歩きたい場所です。

巻頭MAP 6-A 参照

有松天満社

江戸時代の中頃から有松の人々の氏神さま。菅原道真公を祀っています。3月第3日曜は春のお祭り、10月第1日曜は山車まつりが開催されます。

巻頭MAP 6-B 参照



江戸時代

東海道の賑わいと交流

東西約1.8kmの鳴海宿の繁栄ぶりは、紀行文や浮世絵などにその様子が伝えられています。また、あまり知られていませんが、俳聖 松尾芭蕉が幾度も足を運んでいて、芭蕉ゆかりの史跡が多くある地でもあります。



鳴海歴史倶楽部
村上 弘さん

江戸時代の鳴海宿

※イラストはイメージです



千鳥塚（千句塚公園内）

松尾芭蕉は鳴海宿の俳人達と深い交流がありました。鳴海には最古の翁塚で芭蕉直筆といわれる千鳥塚はじめ6つの芭蕉翁塚があるほか、誓願寺境内には芭蕉没後翌月に建立された最古の供養塔があります。

供養塔（誓願寺内）



高札場

当時、宿場の中央にあり、幕府や藩の重要法令を周知するため高札を掲示した高札場を2009年に復元しました。実際の高札は名古屋市博物館に収蔵されています。

巻頭MAP 6-C 参照

常夜灯

宿場の入り口に、旅人の目印として、また宿や道中の安全などを祈願して設置されました。東は1806年に、西は1796年に建てられたものです。

巻頭MAP 6-D 参照



鳴海

江戸から
40番目の宿場町

縄文時代から人々が生活した地域ですが、江戸時代に東海道が整備されると、江戸から40番目の宿場町として栄えました。東西の入り口に設置されて今も残る常夜灯のほか、復元された高札場や数多くある寺社などから当時の面影をしのぶことができます。

緑区には、神話や歴史だけではなく、伝統の技が息づいています。そこでは先人が築き上げた伝統を守り次の世代へ引き継ぐ一方で、伝統技法に基づいた新たなチャレンジも行われており、いずれにも職人の熱い心意気を感じることができます。

伝統の技 絞り

絞りは、布を糸でくくって染め上げ、糸抜き後に様々な模様を浮かび上がらせる技法で、その技法は100種類にも及びます。有松・鳴海絞は1975年に国の伝統的工芸品に指定されたほか、近年では、絞り技法を活かした新商品の開発や有名デザイナーズブランドへの提供など、絞りの可能性はますます広がっています。



行書版 鳴海 名物有松絞り店 天保4年(1833)頃



有松・鳴海絞会館

巻頭MAP ▶ 7-A 参照

絞りの歴史資料の展示と伝統工芸士の実演を見学できるほか、1階で様々な絞り製品を購入できます。

絞り技術の養成講座



伝統工芸士による有松・鳴海絞の技術者養成を行っています。

絞りの新しい形



皮や化学繊維などの素材を絞ったり、自由な色使いでカラフルに染め上げたり、さらにはインテリアや靴などへ活用したり。これらの応用は、絞りの新しい形として注目を集めています。



酒造り



11月になると収穫した新米で、酒の仕込みが始まります。1月～3月が酒造りの最盛期。一部の酒蔵では「酒蔵見学会」も開かれています。



名古屋市内にある蔵元5軒のうち3軒が大高にあり、伝統ある銘柄を守る、伝統に縛られず新しい日本酒を追及する、伝統ある酒蔵で音楽イベントなどを催す、など特色ある取り組みが行われています。

酒造りの町並み

巻頭MAP ▶ 7-B 参照



酒蔵の黒壁がある町並み風景からも伝統を感じられます。



有松絞りまつり

毎年6月に開催。様々な技法による絞りのテキスタイルによる飾り付け、絞りの販売や実演、絞り染めの体験、山車飾りの展示・実演などが行われ、大勢の観光客で賑わいます。



山車を守り後世に引き継ぐ

10月は秋祭りの季節。祭囃子や屋台の喧噪に自然と心が躍ります。お祭りを盛り上げるのは、精巧なからくりの豪華絢爛な山車や昔からの伝統を物語る傘鉾車(かさほこしゃ)など、自慢の山車の数々。地域の個性があふれる山車は、それぞれの町内で大切に守り続けられています。



鳴海の祭り

成海神社(裏方)と鳴海八幡宮(表方)の2つの秋祭りに、それぞれ裏方に4輦、表方に5輦の山車が勢ぞろいします。1輦ずつ山車を人力で回転させる神上げ(裏方)や山車廻し(表方)は壮観。夜に提灯を灯して曳行する姿も幻想的です。



有松の祭り

有松天満社の秋祭りでは、精巧なからくり人形を乗せた豪華な大型の山車3輦が東海道の町並みを練り歩きます。3輦そろってのからくり実演や山車を担ぎ回す車切りは圧巻の迫力です。夜には提灯を付けて曳行し、日中とは全く異なる趣を見せてくれます。



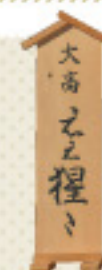
大高の祭り

氷上姉子神社の例祭では、伝統ある傘鉾車(かさほこしゃ)と松車の山車17輦と猩々、お囃子隊などが、町内の秋葉社、津島社、八幡社を巡って氷上姉子神社に集結し祭事が行われます。山車の行列は数百メートルにおよびます。



猩々(しょうじょう)

赤い顔、茶色い髪で着物姿をした大きな被り物の「猩々」は、名古屋南部地域だけに伝わる独特の風習で、祭礼の行列に参列したり、子どもたちを追い回して叩いたりします。大高の「ええ猩々」は、豪華な西陣織の衣装をつけて行列の先導を務めます。



笑顔いっぱい、 みどりっ子！

子育てサポート、子育て支援施設が充実している緑区では、子どもたちの育ちを応援しています。子育て支援団体の活動も盛んで、行政と連携をとりながら、子どもの様子、家庭の状況に合わせたイベントや事業が行われています。

子育てファミリー応援イベント みどり赤ちゃんまつり0.1.2

0.1.2歳のおさんとファミリーのための遊びの場、交流の場、情報交換の場となるイベントです。緑区内の子育て支援団体・関係機関が集まり、おもちゃあそびや読み聞かせ、子育て情報発信などのコーナーを設置します。毎年、大勢のファミリーが参加して、わいわい賑やかに楽しんでいます。



緑区は、子どもの出生数が名古屋市の中で、最も多い区です。
子どもたち一人ひとりが個性を大切にし、のびのびと成長できる環境づくりや、
子育て世代を地域の人々で支えることが出来るまちを目指しています。

笑顔と活気あふれる乳幼児健診！
妊娠中～子育て期を
応援する教室もいっぱい！

〈緑区の出生数〉
2,464人
〔名古屋市の出生数 19,695人〕
※平成29年10月～平成30年9月

名古屋市中
生まれた赤ちゃんの
8人に1人は
みどりっ子！
名古屋市内で
最も多い！

楽しくみんなで食べよう 子ども食堂

子どもの「孤食」防止や「食育」を目的に、全国的に広がりを見せている「子ども食堂」。緑区内にも、地域ボランティアなどが軸となり、場所や食材の提供を受けながら地域の子どもと大人と一緒に食卓を囲んでいる施設があります。



「やってみたい！」ができる遊び場 プレーパーク

水遊び、落ち葉遊び、たき火、おしゃべり……、思い切り体を動かすのもよし、みんなが遊んでいるのを見るのもよし、プレーパークは子どもたちの「やってみたい！」を応援する場所です。



**健康寿命が
名古屋市内で上位**

男性 80.54年 市内1位
女性 84.20年 市内2位
(2015年 名古屋市資料)

**健
やかに**

いきいき シニアライフ

緑区の高齢者(65歳以上)の人口は、約55,000人(2018年)と市内最多ですが、健康寿命は市内で上位にあり、元気な高齢者が多く活気があることがわかります。さまざまな活動に取り組みながら、自分らしく幸せに、健康に暮らしています。

※健康寿命とは日常生活動作が自立している期間のこと



自分らしい活動で
いつまでも元気に
ふれあい
いきいきサロン

体を動かしたり、集えるサロンがたくさんあります。自分に合った活動でいきいきと過ごしています。

ふれあいサロン



健康教室



新たな趣味と仲間づくりの場
なごやかクラブ緑
緑区老人クラブ連合会

グラウンド・ゴルフ、旅行、演芸大会、趣味の作品づくりなど、仲間と一緒に「やりたいこと」「やってみたい」ことをして、楽しく過ごしています。

趣味の作品展



小物づくり



楽しく

グラウンド・ゴルフ



友愛サロン



語らいの場

さりげない声かけ・ささえあい
**見守りネットワーク・
地域ささえあい**

時には支える側であり、時には支えられる側。困ったときは「おたがいさま」で、安心した生活を送りたい。あいさつひとつでふれあいが生まれます。



見守りの様子

若い世代との交流
多世代交流

多世代での交流を通して、地域の中でつながりや思いやりを育みます。顔と顔がつながることで笑顔の輪が広がります。

ふれあい交流カローリング大会



独創的地域マルシェと
語らいの場

朝市で語ろう



高齢者の外出支援と、同時に地域の親睦や孤立防止に役立てようと、片平・浦里学区で地元企業の協力を得て始めました。屋外での「朝市」とともに、屋内では「語らいの場」と、医療・福祉・介護の情報提供・健康相談を行っています。

健康相談



**絆
づくり**

地域支援ネットワーク会議



身近に「農」がある暮らし

緑区では、宅地化・都市化が急激に進む一方で、高速道路の高架や住宅などを背景に、安心・安全でおいしい野菜・果物作りに汗を流す農家さんがいます。大高町では玉ネギやブロッコリー、丘陵地ではブドウ、どれも市内生産量No.1は緑区です。

緑区の伝統野菜 大高菜



江戸時代末期の書物に大高の名産と記されるほど古くから大高地区で栽培されている漬菜の一種。「あいちの伝統野菜」に選ばれています。



野菜のにこにこ教室



種まきから収穫までを行う農業体験農園は、農業の楽しさを体験できだけでなく、家族とのコミュニケーションや仲間づくりのきっかけとして喜んでいただいています。

食べるだけでなく、野菜を栽培したい方にお勧めの農業体験農園。野菜の産地である大高地区で農家さんにノウハウを教えてもらいながら、年間30種類程度の野菜を栽培します。



野菜のにこにこ教室 園主
山口 義博さん



軽トラ市

JAみどりでは、農家さんが軽トラの荷台に農作物を積んで集まる「軽トラ市」が年に2回(7月・12月)、行われます。季節の野菜、旬の野菜がズラリと並び、お客さんと生産者が直接ふれあいながら、温かく、賑やかに開催されています。

緑区観光大使「みどりっち」

「みどりっち」は、緑区の観光大使を務める、とってもお洒落でおちゃめな森の妖精。大好きな緑区の魅力を皆さんにPRするため、いろんな場所に出かけちゃいます。



頭には緑区のシンボルマーク、耳元には木の葉の飾り。洋服は有松の「なまこ壁」と桜の花びら模様。マフラーはもちろん絞りだよ。

みんなの笑顔がパワーの源！みんなが楽しんでいるようなハッピーなパワーのあふれる場所が大好き！

みんなのことが大好きだから、一人でも多くの方とふれあいたいな。でも、ちょっぴり「引」な思案で「恥ずかしがりや」なので、見かけたら、ぜひ、皆さんから声をかけてね。

区内を散歩して、隠れた魅力を見つけることが大好き。もちろん片手には「緑区あちこちマップ」！



チームみどりっち

区制50周年をきっかけに、緑区やみどりっちが大好きな老若男女が結成。にっぽんど真ん中祭りや各種イベントに参加して、歌と踊りで緑区の魅力を発信したり、区政に関わる様々な活動をサポートする地域貢献活動にも積極的に取り組む「緑区の応援団」です。



みどりっちのうたを動画で見てみよう！



- 1 みどりの頭に 若葉が映える 絞りのマフラー つぶらな目 この街ひろめる 観光大使 大好き緑区 みどりっち
- 2 春には桜よ 秋には楓 季節を彩る 扇川 芝生が広がる 大高緑地 いっしょに遊ぼう みどりっち
- 3 有松の 鳴海の 絞りの里は 家並みに息づく 東海道 伝統支える からくり山車だ それだけ囃せよ みどりっち
- 4 お酒と神話の 大高浪漫 近世の囃 桶狭間 輝く歴史と 史跡と文化 伝えて行こうよ みどりっち
- 5 伸び行く 徳重 新たな歴史 皆んなで 築く街 住みよい緑区 明るい未来 皆んなでつくろう みどりっち

みどりっちのうた

みんなが 主役！ 区民まつり

毎年10月に大高緑地で開催され、多くの人でにぎわう区内最大級のイベント「緑区 区民まつり(みどり・シティ・フェスティバル)」。

工夫を凝らした区民参加のメインイベントのほか、ゲームやクイズ、飲食や物販など多数のブースが出展。また、ステージでは、踊りや吹奏楽、どまつりチームの熱い演舞などが披露され、オープニングからエンディングまで大いに盛り上がります。

10月

みどり・シティ・フェスティバル

スポーツ! チャレンジ広場



ダンスのパフォーマンス

猩々(しょうじょう)と子どもたちのあそび



メインイベントの

お披露目



障害者と

区民のつどいコーナー



障害者施設・団体の皆さんが手作り品などの模擬店やスタンプラリーを実施しています。

宿場名物市



鳴海宿の宿場に見立てた模擬店です。絞りの実演や地酒の販売などで賑わっています。

ジャンボフリーマーケット

リユースで環境に優しいフリーマーケットです。掘り出し品が見つかるかも！



みんな覚えてる？

区民まつりの歴史あれこれ



1990
(平成2年) 記念すべき第1回！



1995
(平成7年) 千人鶴を振る舞う



2001
(平成13年) 2000年9月の東海豪雨のため3月に延期



2005
(平成17年) 愛・地球博開催を記念して



2011
(平成23年) みどりっちょ誕生！

開催日 10月 第4土曜日 会場 大高緑地

「ふれあい広場」「わくわく広場」「公所(署) 公共企業等コーナー」「梅林会場」の4つのブロックがあり、たくさんのブースがキャンペーンや体験コーナーなどを実施。ステージでは歌、踊り、演奏などが楽しめます。模擬店やジャンボフリーマーケットもあります。



心躍る個性あるまつり

歴史ある街道や駅前広場、ショッピングセンター…いつものまちがまつりの会場に！
大人も子どもも、来場者も出演者も、みんなの笑顔がキラキラと輝きます。

8月

ど真ん中祭り

につぽん

真夏の名古屋で繰り広げられる日本最大級の踊りの祭典。国内外から集結するチームが地域色豊かな踊りを披露し、緑区チームも多数参加しています。市内に設けられる会場の一つ「鳴海パレード会場」は、趣ある鳴海宿が舞台。踊り子と観客の距離が近く、迫力満点！



猩々チーム

久屋大通公園会場メインステージ



鳴海パレード会場

7月

徳重夏まつり

区民24万人が、どうやったらもっと緑区を好きになれるか、緑区の地域活性化のためになにができるか考えて実行しようという人たちが結成された「緑区大好き24万人プロジェクト」が主催する新しいまつり。会場は、ヒルズウォーク徳重ガーデンズ。ビアガーデンやステージイベント、地元酒蔵の催しなど、緑区の魅力がいっぱい詰まっています。



駅前広場



本町会場

9月

鳴海ここよい祭り

鳴海宿を盛り上げようと、鳴海商工会青年部を中心とした地元の若者が立ち上げた祭り。猩々の追っかけや、鳴海絞り体験、七寺巡り、綱引き大会、よいとこ踊り、ステージショーなど、歴史ある町並みが活気に満ち溢れます。

4月

藍流まつり

有松駅前広場で開催される、有松村に春を告げるまつり。市民グループによるステージイベントや屋台で盛り上がり。総勢800名の踊り子によるラストの鳴子踊りは圧巻！



「住みたいまち 訪れたいまち 緑区」を目指して

これからの魅力発信に向けて

増え続ける緑区の人口。これからも伸びゆく市街地。
緑が豊かで、便利で住みよいまち。
人生100年時代、
このまちでずっと笑顔で暮らしたい。

緑区をもっと知って、
緑区をもっと愛して、
だれもが広報大使となって、
緑区をいっぱい自慢しよう。



人口増加の著しい緑区東部13学区の
行政サービスの拠点として、
公共・民間一体型施設のユメリア徳重が開設。



名古屋市16区唯一の観光推進協議会設立。

JR東海道本線「南大高駅」が開業。
駅の西側には
大型ショッピングセンターが
隣接し、便利なまちへと変貌。



有松駅前再開発事業により、
歴史のまちを継承しつつ、
商業施設や住宅が整備される。



名古屋市中でも人口の多い区となる。

知多郡有松町と大高町が
緑区に編入。

Happy birthday!

4月1日、愛知県鳴海町が
名古屋市に編入して
14番目の区として緑区が誕生！
当時の人口は約4万人。

1963
(昭和38年)

1964
(昭和39年)

1971
(昭和46年)

1998
(平成10年)

2004
(平成16年)

2009
(平成21年)

2010
(平成22年)

2011
(平成23年)

2013
(平成25年)

2016
(平成28年)

2020

2023

2026

2027

リニア中央新幹線開業

愛知県・名古屋市でアジア競技大会開催

東京オリンピック・パラリンピック開催

区制60周年!!

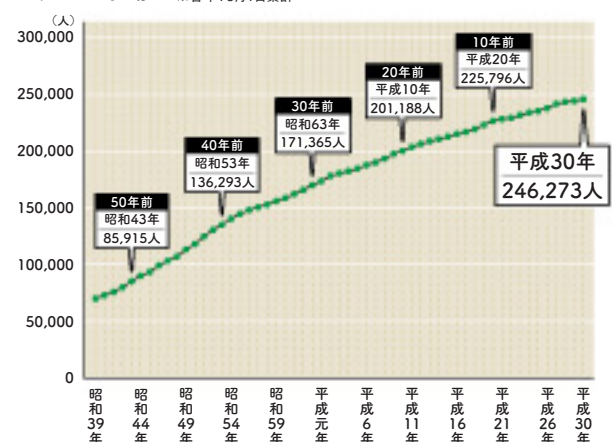
区制50周年を迎える。

Congratulations!

有松の町並みが
国の重要伝統的建造物群保存地区として選定。



■人口の推移 ※各年10月1日集計



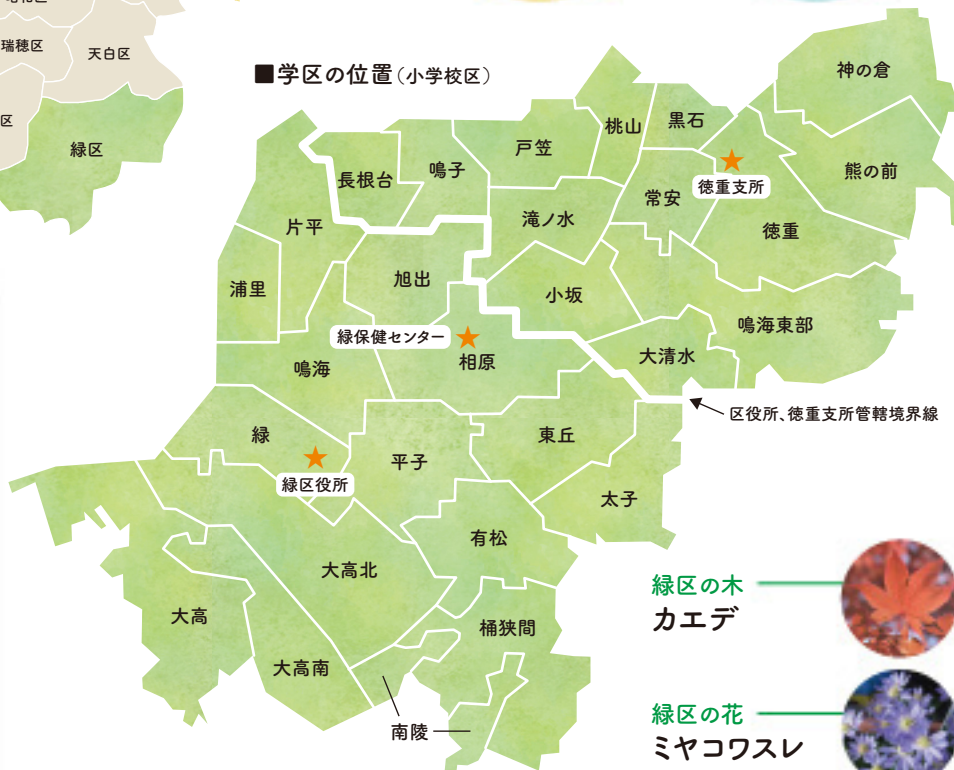
■緑区の位置



人口・世帯数
ともに
名古屋市の区で
最も多い!
(平成30年10月現在)

面積は
名古屋市の区で
港区に次いで
2番目に広い!
<37.91km²>
(平成30年10月現在)

■学区の位置(小学校区)



緑区章

(緑区のシンボルマーク)



昭和47年3月に緑区の区制施行10周年を記念し、広く区民より募集したもののうち入選作を採用し、昭和49年2月13日公表しました。

これは、みどりの「み」と木の葉をデザイン化したものですが、緑区が無限に成長する願いも込められています。

緑区の木
カエデ



緑区の花
ミヤコワスレ



緑区をもっと楽しむ
ガイドブックをご紹介します!



●緑区あちこちマップ



●なごや朝市青空市マップ



●緑区たまり場マップ



緑区役所で
全部もらえるよ!



●緑区ラク楽子育てガイド



発行

名古屋市緑区役所(企画経理室)

〒458-8585 名古屋市緑区青山二丁目15番地 ☎052-625-3898

ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/midori/> 名古屋市緑区 検索

緑区の旬情報をお届け!

Facebookも見てね!

アカウント名 緑区 みどりっち



*本誌に記載されている情報は2018年11月30日現在のものです。

*企画・編集に関するお問い合わせは、株式会社アドキットインフォケーション(☎052-220-5131)まで。

※Copyright (C) 本誌記事の無断転載を禁じます。※この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。